

第1章 計画策定の基本的な考え方



習志野市立大久保東幼稚園 つきぐみ 岩田 奈々



南房総の花畑

県民鳥「ホオジロ」

県内に生息し、県民に最も親しまれている鳥として、この鳥が選ばれました。
(昭和40年5月10日指定)



計画策定の趣旨

千葉県では、平成22年に総合計画「輝け！ちば元気プラン」を策定し、「暮らし満足度日本一」を目指して、「安全で豊かな暮らしの実現」「千葉の未来を担う子どもの育成」「経済の活性化と交流基盤の整備」を基本目標として、各種施策を推進してきました。

この間、東日本大震災により大きな被害を受け、また、県人口の減少や少子高齢化の進展など、厳しい状況が続いていますが、こうした中でも、震災からの復旧・復興に取り組み、安全・安心な県民生活の確保に努めるとともに、東京湾アクアライン（以下「アクアライン」という。）の料金引下げや成田国際空港（以下「成田空港」という。）の発着枠30万回化の地元合意、首都圏中央連絡自動車道*（以下「圏央道」という。）整備の促進など、県経済の活性化につながる施策を着実に進めてきました。

「暮らし満足度日本一」を目指して進めてきたこれらの実績をベースとして、今後は、本県の持つ様々な宝・ポテンシャルをより一層磨き上げ、千葉県を更に発展させていくため、「輝け！ちば元気プラン」を改定し、千葉県の10年後の目指す姿と、その実現に向けてこれからの4年間で取り組む政策・施策を示す新たな総合計画「新 輝け！ちば元気プラン」を策定することとしました。

計画の性格

この計画は、県政運営の基本となるもので、本県の政策の基本的な方向を、総合的・体系的にまとめた県政全般に関する最上位の基本的かつ総合的な計画です。

また、今後の新しい千葉県づくりの方向性を県民と共有し、力を合わせて本県の将来の目指す姿を実現していくための指針となるものです。



元気な園児のサツマイモ収穫体験

第3節

計画の構成と期間

この計画は、「基本構想編」と「実施計画編」で構成しています。

(1) 基本構想編

千葉県を取り巻く時代背景と課題を、「人口減少・少子高齢化」「大規模災害等を見据えた防災・危機管理」「経済・社会のグローバル化*」「安全・安心・治安」「環境保全・持続可能性」「地方自治」「ICT*（情報通信技術）の進展」「広域道路ネットワークの形成や2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を踏まえた地域振興」という8つの視点から整理しました。

その上で、「暮らし満足度日本一」を基本理念に掲げ、10年後（平成31年度）^{注）}の千葉県の目指す姿と進むべき方向性を、「安全で豊かな暮らしの実現」「千葉の未来を担う子どもの育成」「経済の活性化と交流基盤の整備」という3つの基本目標を設けて具体的に明らかにしました。

注）基本構想編では、平成22年3月の「輝け！ちば元気プラン」策定から数えて、平成31年度を「10年後」と位置付けています。

(2) 実施計画編

この3つの基本目標を達成するため、平成25年度（2013年度）から、平成28年度（2016年度）までの4年間で重点的に取り組む政策・施策を体系的に整理しました。

第4節

計画の特色

(1) 千葉県が持つ宝・ポテンシャルの活用

成田空港や圏央道と一体となって、首都圏の広域ネットワークを形成するアクアライン、全国屈指の農林水産業、豊かな自然など、千葉県が持つ様々な宝・ポテンシャルに光を当て、それらを生かす計画としました。

(2) 特性・可能性を踏まえた地域の方向性

県内各地域の持つ強みを生かした、地域ごとの今後の方向性を示しました。

(3) 総合的な取組

分野をまたがる課題に対しては、横断的な連携の下、施策を統合し、相乗効果を高めるなど、総合的な取組としました。

(4) 分かりやすい計画

県民に分かりやすく、親しみやすい計画となるよう、構成や記述面などで工夫に努めました。